

参考様式4

上鵜飼・中鵜飼地区 地域農業マスタープラン(実質化された人・農地プラン)

注:本様式は参考ですので、地域の話合いの結果に応じて、積極的に記載する項目を追加してください。

市町村名	作成年月日	直近の更新年月日
滝沢市	平成26年3月	令和5年3月31日
対象地区名(地区内の集落名)		
上鵜飼・中鵜飼地区 (集落:鵜飼)		

1 対象地区の現状

① 地区内の耕地面積	172.05	ha
② アンケート調査等に回答した地区内の農地所有者又は耕作者の耕作面積の合計	99.79	ha
③ 地区内における75歳以上の農業者の耕作面積の合計	28.56	ha
i うち後継者未定の農業者の耕作面積の合計		ha
ii うち後継者について不明の農業者の耕作面積の合計	17.20	ha
④ 地区内において今後中心経営体が引き受ける意向のある耕作面積の合計	1.00	ha
(備考)		
各面積は令和3年度のプランの実質化において用いた数値を引き続き使用している。		

注1: ③の「〇歳以上」には、地域の実情に応じて、5~10年後の農地利用を議論する上で適切な年齢を記載します。

注2: ④の面積は、別表「(参考)中心経営体」の「今後の農地の引受けの意向」欄の「経営面積」の合計から「現状」欄の「経営面積」の合計を差し引いた面積を記載します。

注3: アンケート等により、農地中間管理機構の活用や基盤整備の実施、作物生産や鳥獣被害防止対策、災害対策等に関する意向を把握した場合には、備考欄に地区の現状に関するデータとして記載してください。

注4: プランには、話合いに活用した地図を添付してください。

2 対象地区の課題

地域の高齢化、後継者不足、耕作放棄地の増加が懸念される。
また、地域の範囲が広くきめ細かい連携が難しい地区である。

注:「課題」欄には、「現状」を基に話合いを通じて提示された課題を記載してください。

3 対象地区内における中心経営体への農地の集約化に関する方針

地域内の中心経営体を基本として、他地域の認定農業者等の受け入れも推進していく。

注1: 中心経営体への農地の集約化に関する将来方針は、対象地区を原則として集落ごとに細分化して作成することを想定していますが、その「集落」の範囲は、地域の実情に応じて柔軟に設定してください。

注2: 「中心経営体」には、認定農業者、認定新規就農者、経営所得安定対策の対象となる法人化や農地の利用集積を行うことが確実と市町村が判断する集落営農及び市町村の基本構想に示す目標とする所得水準を達成している経営体等が位置付けられます。

4 3の方針を実現するために必要な取組に関する方針(任意記載事項)

(1) 農地中間管理機構の活用	経営農地の集約化を目指し、出し手・受け手が農地を機構に貸し付けるよう推進する。受け手が営農困難になった場合も新たな受け手への付け替えを進めることができるよう中心経営体の登録及び貸付けを進める。
(2) 6次産業化・高付加価値化	地域で協力し合いながら多品目の生産を継続し、たきざわキッチン、スーパー店舗、産直施設での販売に力を入れ、農作物の生産量の増加や品目の増加を目指す。りんご、スイカ等高付加価値化に取り組み、スイカサイダーに続く新たな商品開発を進める。
(3) 新規就農の促進と定着化	新規就農者の掘り起こしを進める。
(4) 複合化等経営の合理化	稲作、野菜等の複合化を進める。 野菜、果樹、畜産の拡大のため、各種補助事業、資金を活用する。

5 今後の地域の中心となる経営体の状況

(1) 経営体数

	個人・任意組合	法人
① 認定農業者	18 人	2 法人
② 認定新規就農者	0 人	0 法人
③ 集落営農組織	0 組織	0 法人
④ 他市町村の認定農業者	11 人	0 法人
⑤ 他市町村の認定新規就農者	0 人	0 法人
⑥ 基本構想水準到達者 ^{注)}	3 人	0 法人
⑦ 今後育成すべき農業者	2 人	0 法人

注：基本構想水準到達者とは、①～⑤以外の者で市町村基本構想で定める目標所得を上回っている者。

(2) 農地の集積面積

	集積面積	地域内の耕地面積	集積率
現状	44.70 ha	172.05 ha	26 %
今後	45.70 ha	172.05 ha	27 %

【参考】 中心経営体

No	属性	経営体名	現 状		今後の農地の引き受けの意向		
			主な経営作目	経営面積	主な経営作目	経営面積	経営範囲
001	認農	三上 公樹	水稲、野菜、果樹	2.7 ha	水稲、野菜、果樹	2.7 ha	上・中鵜飼、下鵜飼
002	到達	齊藤 正美	水稲、野菜	0.4 ha	水稲、野菜	0.4 ha	上・中鵜飼
003	認農	三上 榮	水稲、野菜、スイカ	1.3 ha	水稲、野菜、スイカ	1.3 ha	上・中鵜飼、下鵜飼、牧野林
004	認農	三上 多恵	水稲、野菜、スイカ	3.2 ha	水稲、野菜、スイカ	4.2 ha	上・中鵜飼、下鵜飼、牧野林
005	到達	佐藤 光雄	水稲、野菜、大豆	0.9 ha	水稲、野菜、大豆	0.9 ha	上・中鵜飼、下鵜飼、大沢
006	認農	藤村 与志夫	水稲、キクラゲ	0.4 ha	水稲、キクラゲ	0.4 ha	上・中鵜飼、下鵜飼
007	認農	大森 和人	水稲	3.7 ha	水稲	3.7 ha	上・中鵜飼、牧野林
008	認農	三上 恒史	露地野菜、果樹	0.3 ha	露地野菜、果樹	0.3 ha	上・中鵜飼、日向、下鵜飼
009	認農	大森 功	水稲、和牛	7.1 ha	水稲、和牛	7.1 ha	上・中鵜飼、牧野林
010	他認農	佐々木 嘉則	水稲	1.1 ha	水稲	1.1 ha	上・中鵜飼、下鵜飼、篠木、大沢、大釜東、館・上通り、牧野林
011	認農	陸 広行	果樹、水稲	7.0 ha	果樹、水稲	7.0 ha	上・中鵜飼
012	認農	工藤 光	水稲、野菜、和牛	2.1 ha	水稲、野菜、和牛	2.1 ha	上・中鵜飼、下鵜飼、篠木、大沢、牧野林
013	認農	工藤 肇、工藤 信哉	水稲、野菜	0.8 ha	水稲、野菜	0.8 ha	上・中鵜飼、牧野林
014	認農	佐藤 恵一郎	水稲	0.4 ha	水稲	0.4 ha	上・中鵜飼、篠木、大沢、小岩井
015	認農	佐藤 桂	水稲、麦、大豆	1.3 ha	水稲、麦、大豆	1.3 ha	上・中鵜飼、下鵜飼、篠木、大沢、小岩井、牧野林
016	認農	佐藤 亘	水稲、酪農、和牛	0.3 ha	水稲、酪農、和牛	0.3 ha	上・中鵜飼、大沢
017	認農	石川 直実、石川 兼也	野菜	0.2 ha	野菜	0.2 ha	上・中鵜飼、篠木、小岩井、姥屋敷・花平、柳沢
018	認農	武村 東(株エニ-TF)	酪農	0.1 ha	酪農	0.1 ha	上・中鵜飼、一本木、柳沢
019	認農	澤村 謙一	水稲、麦、大豆	0.2 ha	水稲、麦、大豆	0.2 ha	上・中鵜飼、大沢
020	認農	齋藤 昌浩	酪農	3.5 ha	酪農	3.5 ha	上・中鵜飼、大沢、姥屋敷・花平
021	認農	齊藤 文一郎	水稲、野菜	0.6 ha	水稲、野菜	0.6 ha	上・中鵜飼、大沢、柳沢
022	認農	高橋 定吉	水稲	0.1 ha	水稲	0.1 ha	上・中鵜飼、下鵜飼
023	到達	高田 光雄	水稲	0.2 ha	水稲	0.2 ha	上・中鵜飼、下鵜飼、大沢、牧野林
024	育成	澤村 繁(一徳)	水稲、麦、大豆	0.1 ha	水稲、麦、大豆	0.1 ha	上・中鵜飼、下鵜飼
025	他認農	伊東 康博	水稲	0.7 ha	水稲	0.7 ha	上・中鵜飼、下鵜飼、篠木、大沢
026	他認農	伊東 善幸	水稲	0.8 ha	水稲	0.8 ha	上・中鵜飼、篠木、牧野林、下鵜飼
027	他認農	伊東 隆志	水稲	1.0 ha	水稲	1.0 ha	上・中鵜飼、篠木、牧野林
028	他認農	工藤 一雄	水稲	0.2 ha	水稲	0.2 ha	上・中鵜飼、牧野林
029	他認農	佐々木 幸久	水稲	0.7 ha	水稲	0.7 ha	上・中鵜飼、牧野林、下鵜飼
030	他認農	佐々木 幸男	水稲	1.3 ha	水稲	1.3 ha	上・中鵜飼、下鵜飼
031	他認農	大坪 長四郎	水稲	0.3 ha	水稲	0.3 ha	上・中鵜飼、大沢、沼・仁沢瀬、牧野林、下鵜飼
032	他認農	澤口 和則	水稲	1.2 ha	水稲	1.2 ha	上・中鵜飼、下鵜飼、牧野林
033	他認農	齊藤 香織	和牛	0.3 ha	和牛	0.3 ha	上・中鵜飼、篠木、大釜東、館・上通り、小岩井、姥屋敷・花平
034	他認農	齊藤 盛男	和牛	0.2 ha	和牛	0.2 ha	上・中鵜飼
035	育成	工藤 信一	水稲	ha	ha	ha	上・中鵜飼、下鵜飼、牧野林
036	認農	(株)助六園 工藤光	野菜	ha	ha	ha	上・中鵜飼
計		36 経営体		44.7 ha		45.7 ha	

注1:「属性」欄は、プルダウンリストから選択してください。

注2:「今後の農地の引き受けの意向」欄については、現状からおおむね5年から10年後の意向を記載します。

注3:「経営面積」欄には、プランの対象地区内における中心経営体の経営面積を記載します。